

平成24年度

研究概要

研究主題

地域に学び，地域に働きかける
心情豊かな子どもの育成
—地域学習「布佐学習」を中心に—



我孫子市立布佐小学校

はじめに

我孫子市立布佐小学校では中学校区3校で開発に取り組んだ「ふさカリキュラム」の研究に先駆け、地域を学ぶ取組みとして「布佐学習」を先行実施していました。

布佐はその昔我孫子の中心地ともいえる町でした。縄文時代から人が住み、河岸の町として栄え、江戸へと続く「生街道」、気象学をはじめた布佐小学校出身の「岡田博士」、相島新田開発に尽力された「井上家」、「竹内神社例大祭」等々、誇れる歴史や人物、古くから伝わる行事などが数多くあります。

布佐に住んでいる子どもたちが地域学習「布佐学習」に取り組むことで、自分たちの町に愛着を持ち、先人達の取組みに誇りを持ち、自分たちもこの歴史あるすばらしい町の一員として布佐をさらによくしていきたいと思える児童を育てていくことを願い活動しました。

低学年では「布佐の町を見たり聞いたりして、地域の良さに気付く活動」に。中学年では「布佐の町の良さや歴史について誇りを持って周りの人たちに伝える活動」、高学年では「布佐の町をつくり上げてきた人々の思いや努力を知り、よりよい町づくりに向けて、自分たちにできることを考え実践していく活動」、特別支援学級では「布佐の町に目を向け、今の様子、昔の様子を調べてまとめる活動」にそれぞれ取り組んでいます。

「布佐カルタ」「布佐マップ」「竹内神社の伝説」（紙芝居、創作劇）など地域の情報発信のための非常に役立つ成果物もあり、今後も継続的な取組みを行う予定です。

（「第44回（平成25年度）博報賞 受賞対象となった活動の内容」より）

I. 研究の概要

1. 研究主題

地域に学び、地域に働きかける、心情豊かな子どもの育成
—地域学習「布佐学習」を中心に—

2. 研究仮説

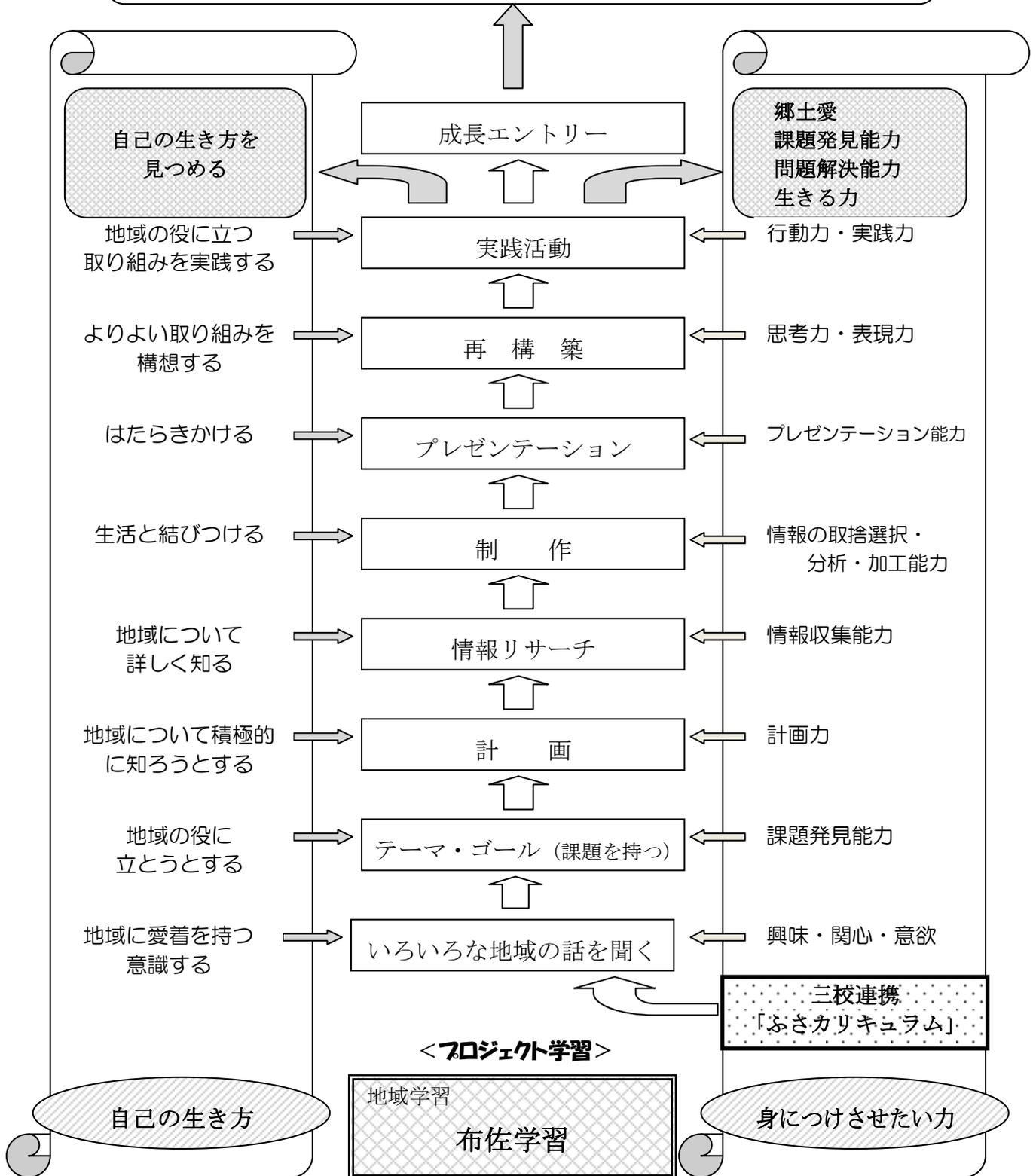
自分たちの住むまちの良さや歴史を知り、さらにより良いまちづくりについて考え実践する「布佐学習」に取り組むことで、他を思いやり、互いに助け合おうとする心情豊かな子どもが育つであろう。

3. 学団仮説

| | |
|--------|---|
| 低学年 | <p>「布佐のまちを見たり聞いたり、地域の人との触れ合いを通して、地域の良さに気づかせれば、布佐を大切にできる心情豊かな子どもが育つであろう。」</p> <p><手立て></p> <ul style="list-style-type: none">・布佐のまちにある公園や店、地域の人々と直接関わる活動を取り入れる。(公園見学やまち探検) <p><マスタープランとの関わり></p> <ul style="list-style-type: none">○安全で快適な暮らしを支えるまちづくり○地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり○人のつながりを深めるまちづくり |
| 中学年 | <p>「布佐のまちの良さや歴史について誇りをもって周りの人たちに伝える活動をしていけば、互いに協力したり、思いや願いを伝え合ったりできる、心情豊かな子どもが育つであろう。」</p> <p><手立て></p> <ul style="list-style-type: none">・地域の人々との交流の機会を多く持つ。・プロジェクト学習を取り入れ、子どもたちに活動のめあてを明確に持たせる。 <p><マスタープランとの関わり></p> <ul style="list-style-type: none">○安全で快適な暮らしを支えるまちづくり○地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり○人のつながりを深めるまちづくり |
| 高学年 | <p>「先人の思いや努力を知り、未来の布佐に向けて、自分達にできることを考え実践していこうとすれば、自他や地域を大切にできる心情豊かな子どもが育つであろう。」</p> <p><手立て></p> <ul style="list-style-type: none">・未来の布佐のまち構想の提案・歴史パンフレット、新聞づくり <p><マスタープランとの関わり></p> <ul style="list-style-type: none">○地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり○人のつながりを深めるまちづくり |
| 特別支援学級 | <p>「布佐のまちに目を向け、今の様子、昔の様子を調べてまとめる活動を行っていけば、互いに協力する態度が育ち、まちへの理解を深めることができるであろう。」</p> <p><手立て></p> <ul style="list-style-type: none">・布佐ものがたり (劇) <p><マスタープランとの関わり></p> <ul style="list-style-type: none">○地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり |

4. 研究構想図

目指す児童像：「心豊かにたくましく生きる児童」
 自ら学びたくましく生きようとする主体的かつ積極的な姿勢を身につけながら、相手の気持ちを思いやれる心の豊かな児童



- 男女の仲が良く、友達思い
- 活動を伴う学習に意欲的
- 布佐のまちに愛着を持っている
- 児童の実態
- △自分の思いを伝えることが苦手
- △課題意識を持ってない
- △地域の歴史的背景を知らない

5. 研究の経過

| 月 | 主な内容 | 形態 | 助言者 |
|----|---|-------------------|--|
| 4 | ○24年度の研究の骨子について ○研究の概要についての確認 ○年間指導計画作成 | ・協議 ・協議 ・作業 | ・校内 ・校内 |
| 5 | ○24年度の研究について ○学団研修 ○環境・資料部会の計画作り | ・協議 ・協議 ・作業 | ・校内 ・校内 |
| 6 | ○学団, 学年研修 ○部会研修 ○指導案検討 | ・協議 ・協議 ・協議 | ・校内 ・校内 ・校内 |
| 7 | ○第1回校内研究会(1,2年生) ○1学期の取り組みのまとめ | ・協議 ・作業 | ・指導主事 横山悦子先生 |
| 8 | ○教材研究 | ・協議 ・作業 | ・校内 ・校内 |
| 9 | ○学団, 学年研修 ○指導案検討 ○第2回校内研究会(3,5年生) | ・協議 ・協議 ・協議 | ・校内 ・校内 ・指導主事 横山悦子先生 |
| 10 | ○学年研修及び部会研修 ○公開研究会の準備 ○公開研究会 | ・協議 ・作業 ・講義 | ・校内 ・教育事務所 指導主事 眉山俊敬先生 ・指導課長 野口恵一先生 |
| 11 | ○研究のまとめ | ・協議 | ・校内 |
| 12 | ○研究紀要について | ・協議 | ・校内 |
| 1 | ○研究紀要作り ○指導案検討 | ・協議, 作業 ・協議 | ・校内 ・校内 |
| 2 | ○第3回校内研究会 ○次年度の研究構想 ○研究紀要作り | ・協議 ・協議 ・作業 | ・校内 ・校内 ・校内 |
| 3 | ○研究紀要作り ○次年度の研究構想・立案・検討 | ・作業 ・協議 | ・校内 |

プロジェクト学習への取り組み

プロジェクト学習とは・・・

子どもたちが意欲的に自分のテーマを持ち、問題を解決していきながらゴールへ向かう学習。最大の特徴は、「何のために何をやりとげたいのか」を子どもたち自身が自覚し、戦略的に目的達成していくプロセスとその全体を俯瞰できるポートフォリオの存在にある。ポートフォリオを活用したプロジェクト学習を行うことで、「意欲」「自信」「考える力」を確実に身につけることが期待できる。

プロジェクト学習はチームで行う

学年（学級）全体で一つのテーマに向かう。それを「プロジェクト全体のテーマ」として進める。そして、自分の考えを持った一人一人が集まってチームを組み、テーマを解決するための「ゴール」に向かう。ゴールは「夢」の実現であり、夢は一人では叶えられない。チームワークでゴールに向かい、戦略を練り、目標を達成することで一人一人の個性が発揮され、課題解決力、イメージ力、自己評価力など、21世紀を生きる力が身につく。

○布佐小学校プロジェクト学習の題材：

「布佐学習」（郷土学習・まちづくり）

○平成24年度各学年のテーマとゴール：

- 1年：テーマ「わたしのつうがくろ」
ゴール「友達とルールを守って遊んだり、安全に気をつけて登校したりできるようになる」
 - 2年：テーマ「布佐のまちのキラキラさんを探そう」
ゴール「布佐のまちの人物マップを作る」
 - 3年：テーマ「布佐のよいところを紹介しよう」
ゴール「調べたことをわかりやすくまとめて、マップやカルタを作り、周りの人たちに広める」
 - 4年：テーマ「布佐のまちをよくするために、自分たちにできることをしよう」
ゴール「まちを良くするために、ポスター、チラシ、新聞、手紙、リサイクル品などを作成する」
 - 5年：テーマ「かなえようまちづくりの思い」
ゴール「布佐のまちをよりよくするための願いを、市長さんに届ける」
 - 6年：テーマ「岡田博士のはかせになろう」
ゴール「布佐についての新聞、リーフレット、絵巻物を作る」
- わかたけ・たけのこ：
テーマ「布佐の伝統と伝説を学ぼう」
ゴール「御神輿を作る」「竹内神社の伝説を劇にする」

Ⅱ. 研究の実践

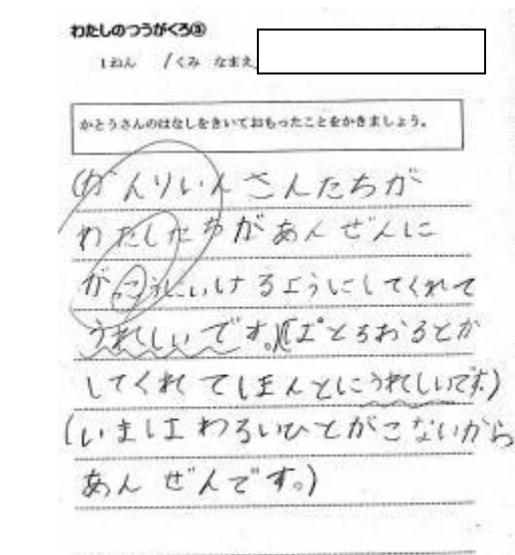
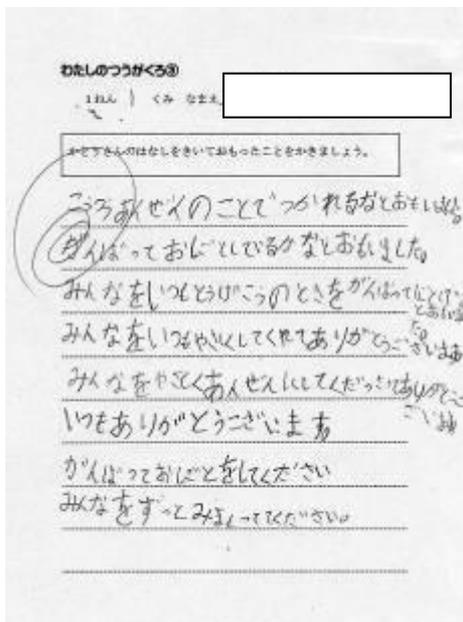
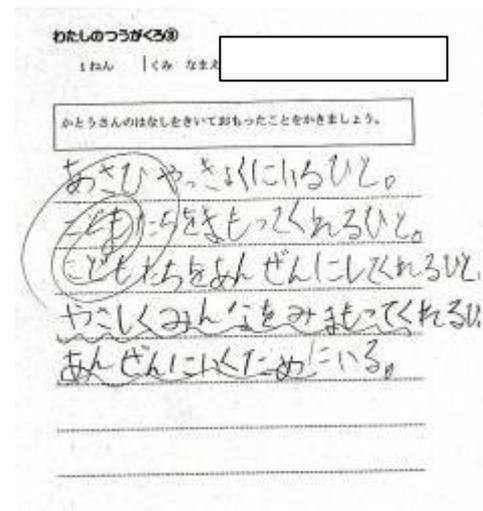
1年

生活科：「わたしのつうがくろ」

<学習の様子>



・加藤さんの話を聞いて思った事を書いているところ



〈資料〉

授業の最初に提示した資料
～安全に関する表示～

- ・通学路探検をして前時にまとめた資料 →
子どもたちが通学路で見つけたもの

↓



- ↓ ・前時までに自分たちが見つけたものをどんな役割があるか
発表しているところ



- ・ゲストティーチャー「加藤さん」の話を聞いているところ ↑

2年

生活科：「ふさのまちの
キラキラさんをさがそう」

<学習の様子>

- ・1年生の時に世話になった方の写真を提示し「キラキラさん」について話し合う。
- ・人物マップを作ることをゴールにすることで、町探検への意欲を持たせる。



◎町探検（1回目）

布佐の町めぐりをして、キラキラさんに会え
そうなところを見つける。

ワークシートをもとに、町探検で行きたい
場所について話し合う。



◎キラキラさん発表会（夏休み版）

夏休みにキラキラさんがしをしました。自分が
見つけたキラキラさんを紹介し合い、2学期の活
動への意欲につなげました。



◎町探検（2回目）

探検計画を立て、グループごとにキラキラさんに会いに行き、頑張る姿を実感してきました。



◎キラキラさん発表会（まとめ）



3年

総合：「布佐のよいところを紹介しよう」

<学習の様子>



布佐の白地図に2年生の時に町探検した場所と3年生で町探検した場所を確認する。



自分が調べたい場所や内容を発表する。友達の意見を聞いて、理解を深める時間



自分の調べたい場所にネームプレートを張り付ける。みんなで協力・分担して調べる大切さに気付く。



学習参観で地図の発表やカルタとり大会を通して、自分達が学んだこと、発見したことを伝える時間

成果物（布佐マップ カルタ）



みんなで分担して調べ、まとめた地図。布佐のまちのキャラクター「ふさだだしお君」が案内してくれます。

い
井上家
新田開発
有名だ



自分達が調べたことや発見したことを俳句にして、カルタにしました。

4年

総合：「布佐まちづくりマップを作ろう」

<学習の様子>

町探検



500円以内で災害時に
役立つものをみんなで考



「ふさの町のよいところはどんな



町づくりマップ作成



町探検で見つけてきたものをマップ
にまとめていきます。



5年

総合：「かなえよう町づくりの思い」

<学習の様子>



今までのフィールドワークや生活体験から、布佐のまちに古くからあるものや行事、活動、施設について考える。



人々の思いを想像する。

- ・安全な暮らし
- ・仲良く暮らす
- ・便利な生活
- ・長生きできる
- ・みんなが楽しむ

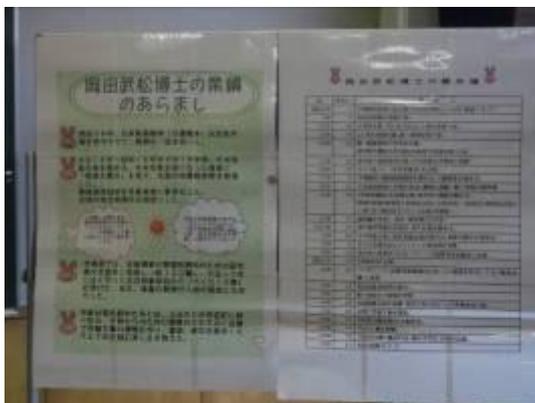


グループで話し合い、意見を出し合う。自分が想像したことを発表する。

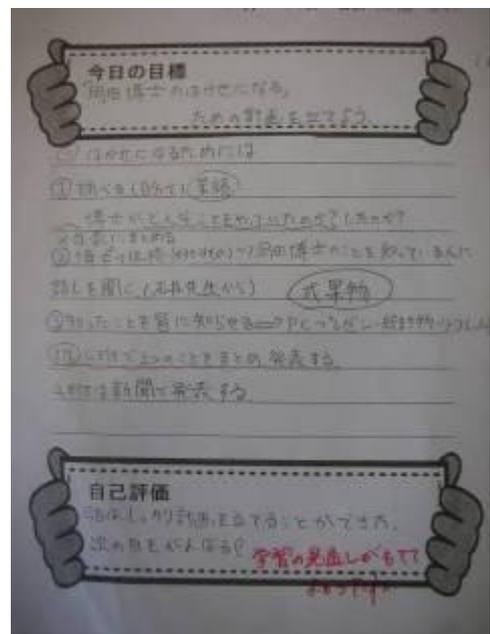
6年

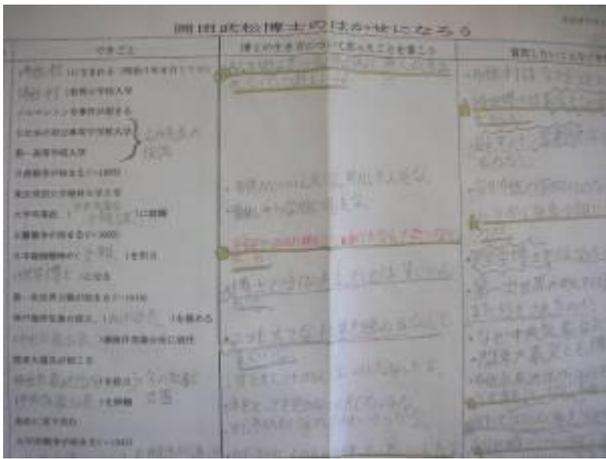
総合：「岡田博士のはかせになろう」

<学習の様子>

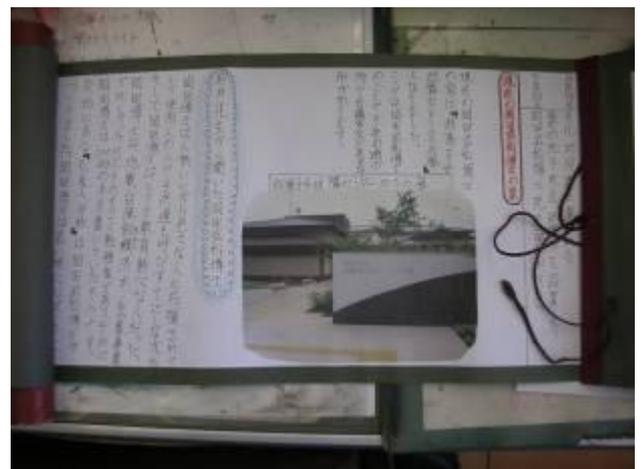


☆本時で使用したワークシート

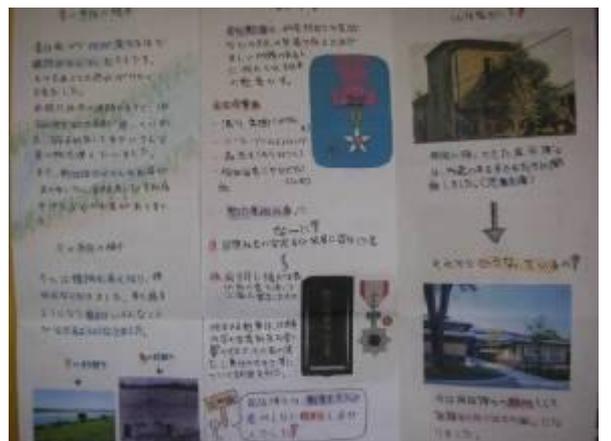
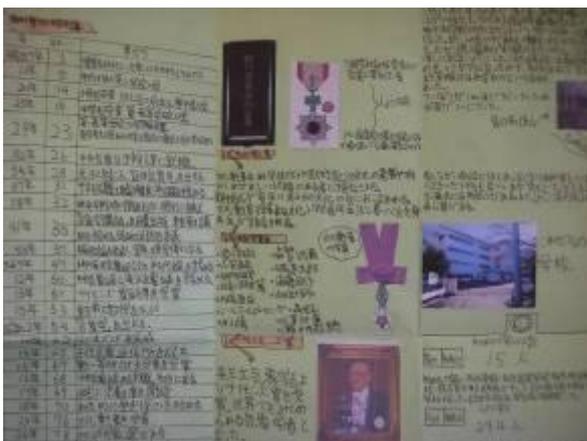




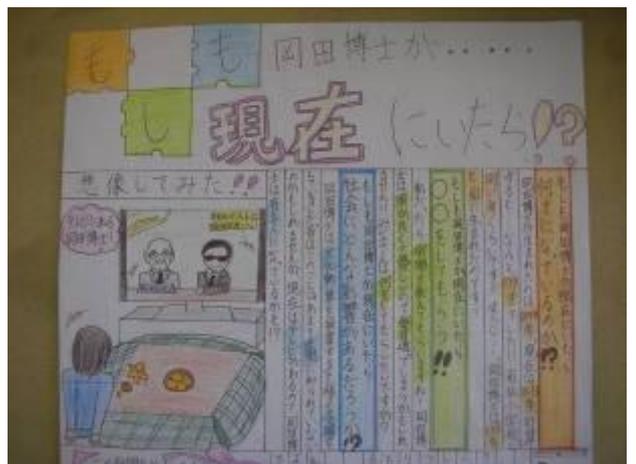
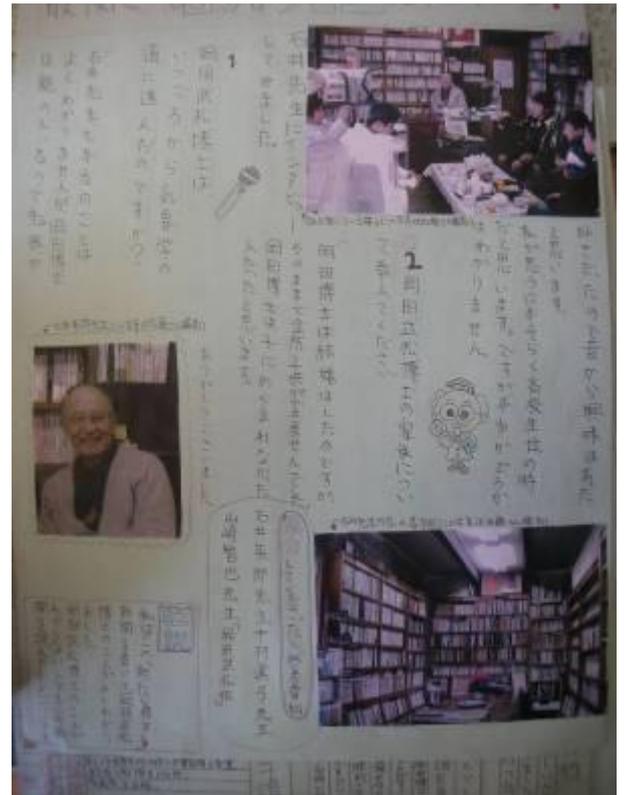
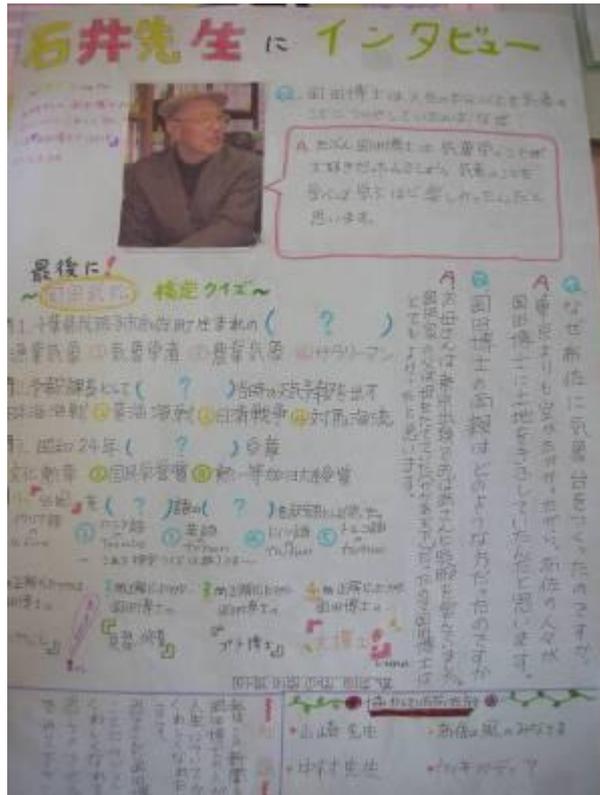
【絵巻物】



【リーフレット】



【新聞】



「岡田博士のはかせになろう」成果物発表会の様子



特別支援学級 わかたけ・たけのこ
総合：「布佐の伝統と伝説を学ぼう」

<学習の様子>



小黒板で、学習の流れを確認する。
終わったらはずしていく。



わらべうたの「とおりゃんせ」を歌い
ながら行っている。



竹内神社の伝説の歌を、歌詞を見な
がら歌う。



「竹内神社の伝説」の紙芝居を聞きなが
ら、お話を理解し台詞や動きをイメージ
する。



「竹内神社の伝説」を劇にして表現
する。



先生方をリハーサルに招待して、劇を見
てもらい、感想を言ってもらった。

【かみしばい】

たけ うち しん じ
竹内神社
でん の せつ
伝 説



おしまい

<参考>

我孫子都市計画マスタープラン概要

1. 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2により、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」（以下「都市計画マスタープラン」という。）として定めるものであり、市町村が主体的に、独自性を発揮して市民参加のもとに策定するものです。市民のまちづくりへの理解と参加を求めため、都市計画マスタープランでは、都市づくりの将来ビジョンをわかりやすく描き、その実現に向けた方法や施策を明らかにします。

2. 都市計画マスタープランの目的

都市計画マスタープランは、我孫子市基本構想に示された将来都市像『手賀沼のほとり 心輝くまち』～人・鳥・文化のハーモニー～の実現に向けて、地域のあるべき姿や都市づくりの課題をふまえ、これらに対応した都市整備の方針を定め、今後の都市づくりを総合的に進めていこうとするものです。

3. 都市計画マスタープランの目標年次

都市計画マスタープランは、長期的な都市づくりの基本方針を示すものであり、計画の開始年次を2002年（平成14年）度とし、おおむね20年後の2021年（平成33年）度を目標年次とします。

4. 地区別構想 「布佐地区」

将来像：緑があふれ、祭りに人が集う東の玄関口

布佐地区は、水運で栄えた歴史の中で、特有の文化を育ててきました。住まいの緑と自然の緑が調和したまちは今、市の東の玄関口として、隣接する町との交流が盛んです。

伝統的な祭りや新たな文化を通して、子どもから高齢者まで世代を超えた人と人との結びつきを深めるとともに、近隣市町の人たちとの交流を進めて、のどかな自然の中で、人々の心が豊かな、魅力あふれる町をめざします。

<人のつながりを深めるまちづくり>

- 市民活動や地域活動をとおした地域住民の交流促進

<地区の資源を生かし、にぎわいを生み出すまちづくり>

- 歴史的・文化的資源の活用によるにぎわいづくり
- 地区住民のくらしを支える買い物環境の充実

<安全で快適なくらしを支えるまちづくり>

- 公共交通の利便性向上と、誰もが快適に移動できる環境づくりの推進
- 市街地の都市基盤整備の推進